



THE NEWS TOKYO NODAI

東京農業大学

世田谷キャンパス 大学本部/大学院・応用生物科学部
地域環境科学部・国際食料情報学部・短期大学部
厚木キャンパス/大学院・農学部
オホーツクキャンパス/大学院・生物産学学部

編集/東京農業大学学長室
発行/東京農業大学出版会
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1

食・農・環境問題を議論 15回世界学生サミット開催

世界学生サミットは、本学が中心となり世界の食料・農業・環境問題について考え、人類の持続的発展と学生自らの役割について発表し、討論する国際会議。第15回目となる今回は「地域社会の再建と地球規模の課題に対する意識向上のために、革新的手法で取り組む学生活動」をテーマとして、食と農と環境に関する諸問題と対策および学生たちの役割について白熱した議論を展開した。

10月1、2日の2日間、ス、ミャンマー、フィリピン、インドネシア、マレーシア、スリランカ、オーストラリア、フランス、ドイツ、オランダ、ウクライナの23カ国・地域から学生37人と教員アドバイス17人が参加した。本学からはバイオサイエンス学科2年鈴木麻佑さんが「東京農業大学にて昆虫食を広げる活動～虫を食べる文化」について発表した。2日間の聴講者は、約2800人にと

「世界学生サミット」に決定した。世界学生サミットを運営する「世界学生フォーラム」は、各国の食・農・環境に強い関心を持つ学生たちのネットワークで、人類共通の課題の解決に



開会式での記念写真

第15回世界学生サミットの総括として「Promoting Environmental Justice in the Globalization of Intensive Agriculture」

文部科学省平成27年度世界展開力強化事業に本学が申請した「中南米地域における食・農・環境分野の実践的な専門家庭教育事業」が採択された。今年度の世界展開力強化事業の対象地域は中南米・トルコ。中南米との大学間交流形成支援の採択数

中南米で食・農・環境の専門家を育成

文科省の世界展開力強化事業に採択

は申請25件のうち8件(私大は本学を含め2件)。これにより東京農大のグローバル化はさらに加速する。具体的な取り組みは、中南米における持続的な食料生産を目指す起業家、食農・環境問題の実践的な専門家を育成するために、中南米の協定校

からの交換留学生の受け入れ数を倍増させる。また、これまで以上に多くの学生を協定校へ派遣する。そのために、既存の交換留学プログラムに加えて、実学主義に基づく実践的な教育として中南米と日本で相互に農学系インターシッピングプログラムを実施する。同プログラムでは、協定校の学生を本学のベンチャー企業などに受け入れ、先端的な食料・農業・環境教育を行うとともに、本学からは中南米で卒業生が経営する農園および加工場に学生を派遣実施する。また、日本からの短期留学生は現地においてスペイン語もしくはポルトガル語の集中教育を受講させ、中南米からの



厚木学生会館オープン!

10月15日厚木キャンパスで、学生課外活動の拠点となる学生会館落成の式典が挙行された。大澤貫寿理事長が挨拶し、写真右、農友会YOSAKOIソーラン部が演武を披露した。写真左上。当館は地上4階・地下1階、延床面積4440㎡、アースカラーの外壁とけやきの葉をモチーフにした白のルーバー、開放的な物科学部食品加工技術セ

1階アグリラウンジには株式会社サガミベーカーが運営するパン屋「BunBun」が開店し、写真左下、本学応用生物科学部食品加工技術センターを完備。



向けて、学生間の情報交換・共同議論などを推進する国際組織。本学在学中で関心があれば、誰でも委員になり活動することが出来る。現在、本学では約90人の学生メンバーが活動している。(国際協力センター)

ガラス面で構成。1階の「アグリラウンジ」は153席を用意し、みずみずしく色とりどりの野菜を盛り付けたサラダプレートのような学生の集いの場となる。同階「アグリキッチン」は写真右下は各階の交流スペースのミニキッチンとともに野菜などを材料に料理したり、ハーブティーを楽しむことができる。2階は農友会各部・全学応援団・各学科統一本部・同好会の部室、2・3階中廊下には開放的な吹き抜け空間「アグリ広場」、4階には短期留学生などを受入れ可能な宿泊室、地下1階には音楽練習室、収穫祭倉庫、シャワー室を完備。

香り、明るく開放的な課外活動の拠点「農舞台」学生会館がいよいよOPEN。ぜひ足を運んでほしい。(厚木キャンパス事務部)

ISPC 理事を務め終えて

総合研究所 教授 佐々木卓治



ISPCメンバー集合写真。前列左が議長 Dr.Maggie Gill。後列右端 筆者 (2015.9.19 於 FAO 本部、ローマ)

わが国が行っている政府開発援助 (ODA) について、その内容や予算をご存じの方は少ないだろう。大別して国連、IMF、OECD、その他、に2014年予算額9200億円を拠出している。国際農業研究協議グループ (CGIAR) は開発途上国の農業開発研究を世界規模で展開する共同体制であり、傘下に国際イネ研究所 (IRRI) や国際トウモロコシ・小麦改良センター (CIMMYT) など15の国際農業研究センターを持つ。各センターで成果は多くの

パートナー機関との共同作業で開発途上国を中心に広く世界中に普及される。2014年の年間予算額は約1200億円であり、わが国もその1%を拠出している。独立科学パートナーシップ理事会 (ISPC) はCGIARの一組織として理事7人で構成。私は2013年3月から今年9月まで理事を務めた。最重要任務は2010年に開始された各研究センター横断型の期間5年の大型プロジェクト (CRP: CGIAR Research Program) の課題内容や進行状況をモニターすること。私の在籍期間中、現在進行中の16CRPの評価と2017年から開始される第II期CRPの申請審査を実施。2010年開始のCRP共通目標は、乾燥や温暖化で悪化する環境で、アフリカ・アジア地域を中心とした約12億人の貧困層が持続的農業を行い生産物から収入を得るためのシステム構築。第II期ではその目標設定がさらに徹底され13CRPに再構成される。各CRPの目標達成を願うとともに、国際食料情報学部生には特に関心を持っていただき、将来CGIAR研究センター等での活躍を願っている。

多岐にわたる東京農大の産学連携協定

本徳神糧株式会社と

10月16日、本学は本徳神糧株式会社と包括連携協定を締結した。本協定は農業及び関連産業の活性化に貢献しうる活動を展開すると共に、農業開発への支援を通じた国際協力活動を展開することにより、地球的規模での食料・環境問題の解決に貢献することを目的とする。

三菱地所とエコッツェリア協会と

本学は8月3日に三菱地所株式会社及び一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会 (エコッツェリア協会) と包括的連携協定を締結した。「食と農」分野において、大手町・丸の内・有楽町地区 (以下、大丸有エリア) をフィールドとし、都市と地方が連携する拠点を構築し、新たな価値創造につながる仕組み、およびそれを推進する産学連携の推進を目的に、人材の育成に関する共同研究に関すること、産学連携拠点づくりを行う。

サカタのタネと

本学は7月29日に株式会社サカタのタネと包括連携協定を締結した。本学では農業及び関連産業の活性化に貢献する活動及び農業開発への支援を通じた国際協力活動を展開。

上海交通大学

本学は7月21日に中国上海交通大学農業与生物学院 (上海市) と学術協定を締結した。上海交通大学は、中華人民共和国國務院教育部直属の国立総合大学で、第5代国家主席・江沢民氏の出身校として有名。国家重点大学で、特に理工系に伝統があり、社会科学から自然科学、基礎学から応用学まで幅広い学部を備える。

西オーストラリア大学と

本学は9月10日に西オーストラリア大学と学術協定を締結した。西オーストラリア大学は州首都パースにあり、豪州8大学の一角の総合大学で11学部を有す。本協定の中心となるのが科学部 (Dept. of and Agriculture 分野) である。Life Science and Agriculture 分野で国内1位、世界では24位というハイレベルを誇る (2014年)。

台湾嘉義大2学部と

台湾国立嘉義大学農学院と本学農学部、並びに台湾国立嘉義大学生命科学院と本学生物産学協定を締結した。嘉義大学は7月28日に学術交流協定を締結した。嘉義大学一行は厚木キャンパス、オホーツクキャンパスを順次訪問、視察を行なった。

上海交通大学

本学は7月21日に中国上海交通大学農業与生物学院 (上海市) と学術協定を締結した。上海交通大学は、中華人民共和国國務院教育部直属の国立総合大学で、第5代国家主席・江沢民氏の出身校として有名。国家重点大学で、特に理工系に伝統があり、社会科学から自然科学、基礎学から応用学まで幅広い学部を備える。

上海交通大学

本学は7月21日に中国上海交通大学農業与生物学院 (上海市) と学術協定を締結した。上海交通大学は、中華人民共和国國務院教育部直属の国立総合大学で、第5代国家主席・江沢民氏の出身校として有名。国家重点大学で、特に理工系に伝統があり、社会科学から自然科学、基礎学から応用学まで幅広い学部を備える。

上海交通大学

本学は7月21日に中国上海交通大学農業与生物学院 (上海市) と学術協定を締結した。上海交通大学は、中華人民共和国國務院教育部直属の国立総合大学で、第5代国家主席・江沢民氏の出身校として有名。国家重点大学で、特に理工系に伝統があり、社会科学から自然科学、基礎学から応用学まで幅広い学部を備える。

上海交通大学

本学は7月21日に中国上海交通大学農業与生物学院 (上海市) と学術協定を締結した。上海交通大学は、中華人民共和国國務院教育部直属の国立総合大学で、第5代国家主席・江沢民氏の出身校として有名。国家重点大学で、特に理工系に伝統があり、社会科学から自然科学、基礎学から応用学まで幅広い学部を備える。

上海交通大学

本学は7月21日に中国上海交通大学農業与生物学院 (上海市) と学術協定を締結した。上海交通大学は、中華人民共和国國務院教育部直属の国立総合大学で、第5代国家主席・江沢民氏の出身校として有名。国家重点大学で、特に理工系に伝統があり、社会科学から自然科学、基礎学から応用学まで幅広い学部を備える。

イソフラボン



植物由来機能性成分のうち、骨粗鬆症に最も効果的なのは大豆イソフラボンとされてきた。それは、イソフラボンが骨代謝を制御する女性ホルモン

骨粗鬆症を予防するか?

もう20年近く前になるが、私は「植物エストロゲンの父」と呼ばれていたヘルシンキ大学のアドラー・クロイツ教授の下で、

ゲンの研究を継続することにした。イソフラボン代謝は腸内細菌に影響される為、腸内細菌叢を変化させる食品成分とイソフラボンを併用摂取させたところ、骨粗鬆症モデル動物で増加したのはイ

ソフラボン代謝産物のエクトールという物質で、骨量減少も効果的に抑制された。エクトールは、1997年、乳がんの罹患リスク低減に寄与すること、有名な医学雑誌の「Lancet」に

掲載された。その後、私たちの研究

により詳細を検討していく予定である。

掲載された。その後、私たちの研究

野菜や果物の成分が

骨粗鬆症を予防するか?

もう20年近く前になるが、私は「植物エストロゲンの父」と呼ばれていたヘルシンキ大学のアドラー・クロイツ教授の下で、

ゲンの研究を継続することにした。イソフラボン代謝は腸内細菌に影響される為、腸内細菌叢を変化させる食品成分とイソフラボンを併用摂取させたところ、骨粗鬆症モデル動物で増加したのはイ

ソフラボン代謝産物のエクトールという物質で、骨量減少も効果的に抑制された。エクトールは、1997年、乳がんの罹患リスク低減に寄与すること、有名な医学雑誌の「Lancet」に

掲載された。その後、私たちの研究

により詳細を検討していく予定である。

掲載された。その後、私たちの研究

掲載された。その後、私たちの研究

保護者の不安解消！ 地方懇談会を開催

7月11、12日の2日間、平成27年度教育後援会地方懇談会が開催され全国



宇都宮会場の様子

24会場で約1800人の保護者が参加。当日はパワーポイントを使用し、学生生活、教務、就職活動関連の説明の後、昼食会、個別相談会が行われた。

参加者からは、「子を送り出す親として地方での開催は助かる／長岡会場・国際2年他」「今後も会の継続を／福岡会場・生物3年他」「資料や説明も抱負で教員

も笑顔のアットホームな会でした／大阪会場・国際2年他」などの多数のコメント(アンケート抜粋)があり好評であった。

保護者から直接受けた意見要望等は今後も「学生に愛される大学」になるため、これからの大学運営や次回開催に向けて検討を行う。

本学の地方懇談会は1962年に始まり今年で54回目。神奈川県をローテーションし原則隔年に開催している。毎年6月には世田谷、厚木キャンパスで、10月にはオホーツクキャンパスで同内容の教育懇談会を実施している。

(教育後援会・学長室)

ブラジル移住100年史発刊 世界で受け継がれる東京農大精神

1914年に本学卒業生が初めてブラジルに移住してから一世紀。ブラジル農大編集委員会では4年の歳月をかけて「移住百年史」を完成させた。

1914-2014 Ⅱ写真Ⅱを製作。貴重な写真や文献とともに100年の歴史が726ページにわたりに綴られた重厚な書籍で、ブラジルへ移住した農大生と教職員、キャンパスではダイコン1万本を栽培するプロジェクトを展開し、このたび収穫祭(10月31日、11月1日)の来場者を迎える準備が整った。このプロジェクトは農学科・高畑健助教をリーダーに、学生・教職員協働プロジェクトとして立ち上がり、学生同士、学



厚木キャンパス だいこん1万本アート完成!

が催され、沖ブラジル支部長、高野学長、舟山事務局長、志和地国際協力センター長をはじめ約70人が出席。高野学長は「第一の産業に携わる人口が減り、苦勞を知らない世代の子どもたちがまたブラジルで研修をしたいと言うのは、農大DNAが受け継がれている証拠。この地で次世代の卒業生との絆がさらに深まることを確信している」と祝辞を述べ、さらなる発展と交流を誓った。(学長室)

厚木キャンパスではダイコン1万本を栽培するプロジェクトを展開し、このたび収穫祭(10月31日、11月1日)の来場者を迎える準備が整った。このプロジェクトは農学科・高畑健助教をリーダーに、学生・教職員協働プロジェクトとして立ち上がり、学生同士、学

活躍する卒業生 「農大人」として

国際農業開発学科 助教 パチャキル・バビル



「I wish to work in the field of agriculture as a scientist」は私が

中学卒業時に書いた作文の一行である。作物を育てるのが大好きだった私にとって、進路の選択肢には常に「農学」があった。高校時代、母国インドの農業大学への進学も検討したが、どの大学も座学中心のカリキュラムが多く、進学先としての魅力を感じなかった。そんな時、高校の先生の尽力により、後に学生・大

学院生として9年間、さらには教員として所属することになる国際農業開発学科の熱帯作物学研究室を見学する機会を得た。国内外にフィールドを持ち、得られた成果を現場に戻す「実学主義」を大切にしている国際農業開発学科で学びたいという思いがさらに強くなり入学を決意した。

母校東京農大では教員になる機会に恵まれたが、当初は教育者としての自分の姿を十分に描けずいた。教員になろうと決めた一番の理由は学生時

代に恩師から頂いた「いくら立派な論文を書いてもその命は長くても10年程度だが、一緒にその研究に取り組んだ学生との付き合いは一生続く」という言葉である。農学という果てしなく広い分野の諸課題の解決を研究者として一人が目指すよりも、多くの仲間と一緒に挑戦できればと思ひ、教員という道を選んだ。



収穫祭へ「WELCOME」の文字が浮き出る!



受賞など

- ▼日本乳酪学会 2015年度大会 / 若手優秀発表賞 / 新穂高(食香博後3年) / Lactobacillus R2003 における脱アセチル化酵素サーチュインの機能解析 / 7月11日
- ▼第13回微量元素の生物地球化学に関する国際会議(ICOBT 2015 FUKUOKA) / ポスター賞(ポスターセッション) / 齋藤彰宏 助教(生物応用化学科)他 / [Characterization of heavy metal-induced vesicular compartments in the perivascular region in plant cells] / 7月13日
- ▼第9回国際野生生物管理学会(Vth International Wildlife Management Congress) / 学会特別賞 / 羽根田貴行(生物博後6年) / [Seasonal Movement and Diving Patterns of the Kuril Harbor Seals in Eastern Hokkaido] / 7月31日
- ▼日本食品科学工学会第62回大会第11回若手の会 / 優秀ポスター発表賞(ポスターセッション) / 山岸彩乃(化学博前2年) / アルファ化米が肥満モデル Zucker-1at の脂質代謝に及ぼす影響 / 8月27日
- ▼日本食品科学工学会第62回大会第11回若手の会 / 優秀ポスター発表賞(ポスターセッション) / 尾関峻輔(食香博前2年) / 香辛料香気成分による高カテキン緑茶の苦味軽減効果 / 8月27日
- ▼環境科学会 2015年会 / 優秀発表賞(富士電機賞) / ポスターセッション / 「多摩川流域における気象・地形・植生の変遷に伴う年蒸発量の変化」 / 佐藤博紀(森林4年) / 9月7日
- ▼第62回日本栄養改善学会学術総会 / 奨励賞 / 勝間田真一 助教(栄養科学科) / 「リン過剰摂取による骨代謝変動に関する研究」 / 9月24日
- ▼日本農芸化学会 2015年度関東支部大会 / 若手優秀発表賞(醸造ターミネーション) / 政田尚子(醸造博前1年) / 「コレステロール生合成阻害活性を有する Deacetylcholine II」の合成及び立体化学に関する研究 / 9月26日

「食と農」の博物館だより

「食と農」の博物館では10月14日から特別展「女わごと自然のかかわり」―農を支えた東北の布たち―展を開始。昨年の博物館開館10周年記念展示「農と折り」―田の馬 神の馬―展に続き、農業を中心に日本人が営々と営んできた生活を、「布」という視点で捉えた民俗学的展示である。1階では新たにトラクター3台が展示され圧倒的な存在感をみせている。本学の農場の整備や農業機械実習の授業などで長い間使われてきた貴重なベテラントラクターであり必見である。

相撲部

選抜金沢大会 団体優勝

日頃の努力コツコツと



どんなに個人戦で成績が良くても、団体戦としての成績であればうれしさは数倍となる。

個人戦は当たり前だが、真に追求するのは『東京農大団体優勝』。7月、石川県金沢市で行われた

第5回全日本大学選抜相撲金沢大会。強豪ぞろいの予選を1位通過。決勝トーナメントでは拓殖大・日大に競り勝ち、決勝は中央大。2勝を先取され相手に傾いた流れの中、北村(森林3年)と大将・鈴木(工学3年)が自分より大柄で実績ある選手を相手に、一歩も引かぬ会心の相撲内容で3対2と逆転。日頃の努力が実り念願の全国大会団体優勝を果たした。写真。



今年大相撲九月場所(東京)で、見事に11勝4敗と勝ち越した新十両の正代(H26開発卒)は、大澤賞理事長と高野克己学長から贈呈された

新十両 正代

農大「化粧まわし」披露

「東京農大」化粧まわしを土俵上で初めて披露した。写真。本学から9人の関取となった正代に十一月場所(福岡)でもさらなる声援を。

3年連続「杜の都駅伝」

第21回関東大学女子駅伝対校選手権大会(千葉市印西・9月27日)で、陸上競技部の女子長距離部が2位となり10月25日に仙台市で行われる第33回全日本大学女子駅伝対校選手権大会(杜の都駅伝)に3年連続23回目の出場を果たした。関東地



区は6棒を22チームが争う激しい激戦となったが、1年)がトップでタスキをつなぐと各区间安定した走りでの上位をキープした。第2位でゴールした。杜の都・仙台ではエース・飯野摩耶(経済4年)を中心に、ルーキーの力を加えた農大らしい粘りのある走りでの7大会ぶりのシード権獲得を狙った。

ボクシング 和歌山国体でメダル

第70回紀の国わかやま国体ボクシング競技会(9月30日〜10月5日・田辺市)で、森坂嵐(ビジネス1年/奈良県)がライト級で優勝した。また同級の準優勝は星二郎(H19経済卒/和歌山県教育庁)。フライ級では北浦龍馬(ビジネス1年/長崎県)が準優勝

オホーツク野球部 3年連続V

オホーツク硬式野球部は北海道六大学野球秋季リーグ戦一部リーグで3季連続26回目の優勝を果たした(9勝1分)。また10月4、5日に行われた第46回明治神宮野球大会への道となる北海道地区代表決定戦では、道都大(札幌)に2戦連続の逆転負けを喫し、悔し涙を飲んだ。

農大生ボランティアが大活躍!

網走初のフルマラソン

網走市で初のフルマラソンが9月27日に開催され外国人を含む全国から約2600人のランナーが秋の爽やかなコースを駆け抜けた。ランナーは、午前9時



に水谷洋一網走市長の号砲で網走刑務所前を一齐にスタートし、オホーツク海が一望できる絶景の広がる能取岬を経由して、150万本の満開のひまわりが待つ大曲湖畔園

地写真上りのゴールを目指した。ランナーには、現役学生、オホーツク卒業生、教職員も多数見られた。

生物産業学部は、市民を挙げて行うこの一大イベントに全面協力するため、授業の一環として1年生全員にボランティアの協力をお願いした。これは、生物産業学部の目指す「大学と地域の相互作用による『共創 共育 共感』システムの構築」を具現化するための重要な活動と位置付け、ボランティアとして地域の方々と協働することで、

主体性や発信力等を磨き「社会人基礎力」を身につけることも狙いとした。学生は、スタート地点とゴール地点およびコース内17カ所に設置された給水ポイント、スポンジポイントに分かれて各ランナーに提供することもに、自ら考えた手作り応援グッズを手に懸命に声援を送っていた。写真。多くのランナーがその応援に対して笑顔で返していた。

午後6時の激しい雷雨の中でもびしょ濡れになりながら声援を送る農大生ボランティアの姿に感激した多くのランナーから、SNSを通じて感謝の言葉を多数寄せた。まさに「農大健

児の意気を見た」一日だった。輝いていた学生の表情がこの活動を通じて成長できた証しだ。(オホーツク事務局)

野菜のお話⑥ 最終回

カボチャの種類は3つ

ハロウィンといえどカボチャ。野菜として利用されるカボチャは主に、セイヨウカボチャ(Cucurbita maxima Duch.)、ニホンカボチャ(Cucurbita moschata Duch.)、ペポカボチャ(Cucurbita pepo L.)の3種類に分けられる。現在では、甘味の強いセイヨウカボチャが

種類	形	表面	肉質	果梗の切り口	果実との付着部「座」(彫らみ)
セイヨウカボチャ	丸み(上下のくぼみなし)	平滑	粉質	円形	なし
ニホンカボチャ	角張る(上下のくぼみあり)	縦溝	粘質	五角形	あり
ペポカボチャ	異質に富む(例:ズッキーニなど)			星形状	なし



セイヨウカボチャ
形:丸み(果実の上下くぼみなし)
表面:平滑
肉質:粉質
果梗の切り口:円形
果実との付着部に「座」(彫らみ)はない



ニホンカボチャ
形:角張る(果実の上下くぼみ)
表面:縦溝
肉質:粘質
果梗の切り口:五角形
果実との付着部に「座」がある



ペポカボチャ
形:変異に富む(写真はズッキーニ:細く尖る)
果梗の切り口:星形状
果実との付着部に「座」はない

(農学科助教/高畑健)